

WRS

World Robot Summit

2020



Robotics for Happiness

World Robot Summit(ワールドロボットサミット)は、人間とロボットが共生し、協働する社会の実現を目指しています。

WRSでは、ロボットの競技会「World Robot Challenge」と、最新のロボット技術を展示する「World Robot Expo」を介して、世界中のロボット関係者が一堂に集まり、リアルな日々の生活、社会、産業分野でのロボットの社会実装と研究開発を加速させることを目的とします。

2020 AICHI / FUKUSHIMA

愛知県国際展示場

福島ロボットテストフィールド



AICHI
SKY EXPO

FUKUSHIMA
ROBOT
TEST FIELD

2020年10月8日(木)~11日(日)

2020年8月20日(木)~22日(土)

※インフラ・災害対応カテゴリーの競技を福島ロボットテストフィールドで開催

主催



公式HP <https://worldrobotsummit.org>



World Robot Challenge WRCでは、4つのカテゴリーで各競技を実施します。



ものづくり カテゴリー

製品組立チャレンジ

「迅速な一品ものづくりを目指して」

このカテゴリーでは、様々に変化する生産要求に(究極には一品物の生産要求にさえ)、適切な規模で迅速かつ無駄なく対応できる生産システムの構築を目指して競技を行うことにより、未来の生産システムの実現を加速させることを目的とします。



サービス カテゴリー

パートナーロボットチャレンジ(リアルスペース)

人間とロボットが協働できる生活環境を実現することをコンセプトとし、人との距離が近い居住空間である部屋の片づけを競います。全チームが同一のプラットフォームロボット(TOYOTA HSR)を使うことでオープンイノベーションを加速させる効果を期待しています。

フューチャーコンビニエンスストアチャレンジ

従業員の負担が軽減され顧客にうれしいサービスが増加する未来のコンビニエンスストアを実現することを目的とした、世界初の競技です。



パートナーロボットチャレンジ

インフラ・災害対応 カテゴリー

プラント災害予防チャレンジ

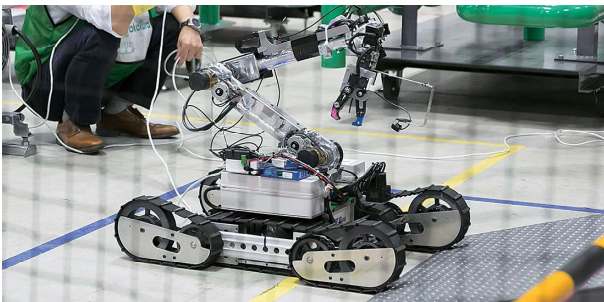
定められた基準に従ったインフラの点検やメンテナンスをします。

トンネル事故災害対応・復旧チャレンジ

トンネル災害に対応する世界初の競技です。トンネル災害における情報収集、緊急対応をします。

災害対応標準性能評価チャレンジ

災害予防・対応で必要となる標準性能レベルの評価をします。
(移動能力、センシング、情報収集、無線通信、遠隔操作、現場展開、耐久性など)



プラント災害予防チャレンジ

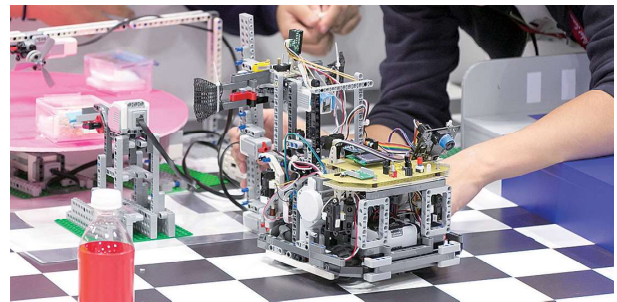
ジュニア カテゴリー

スクールロボットチャレンジ

プラットフォームロボットをプログラミングすることで、学校で役に立つロボットの開発を目的としています。

ホームロボットチャレンジ(ミニサイズリーグ、リアルサイズリーグ)

家庭環境を改善し、より良い暮らしを実現するために問題解決をするロボットを製作していただきます。使用するロボットの大きさによって、ミニサイズリーグ、リアルサイズリーグをそれぞれ実施します。



ホームロボットチャレンジ

World Robot Expo

企業・団体、自治体による最新のロボット技術を展示・紹介します。「WRC」とも連動し、競技参加者や出場者、来場者の交流を図り、「人とロボットが共生し、協働する社会の実現」を目指します。



World Robot Summit (WRS) 運営事務局

開催・ご協賛に関するお問い合わせはこちら

公式HP <https://worldrobotsummit.org>
E-mail info@worldrobotsummit.org
Facebook <https://www.facebook.com/worldrobotsummit/>
YouTube <https://www.youtube.com/watch?v=Dif3JSLJ8mw>